

「中央・総武緩行線運用改訂について」

提案を受ける！

地本は本日（7月3日）千葉支社より、表題の事案について提案を受けました。関係職協、分会は提案等の内容を検討し、職場要求等の集約をお願いします。

<中央・総武緩行線運用改訂について>

御茶ノ水駅改良工事が一部終了することから、車両滞泊を御茶ノ水駅滞泊に変更するため運用改訂を実施する。

1. 実施日

2024年10月1日（火）

2. 対象区所

津田沼統括センター

3. 諸 元（速報値）

- 乗務員乗務キロ及び労働時間（別紙1）
- 準備時間一覧表（別紙2）

4. その他

- 早朝時間帯に運転している回送電車（津田沼発・御茶ノ水行）を前日の深夜帯へ変更する。
- 必要な準備等は実施する。

<別紙1 乗務員乗務キロ及び労働時間(速報値)>

「車掌関係」

区所名	改訂(令和6年10月1日)				増 減			
	区所計		一人一日平均		区所計		一人一日平均	
	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)
津田沼統括センター	13,117.9	492:25	170.4	6:23		0:08		0:00

「運転士関係」（車種：EC）

区所名	改訂(令和6年10月1日)				増 減			
	区所計		一人一日平均		区所計		一人一日平均	
	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)	乗務キロ	労働(A)
津田沼統括センター	9164.4	375:02	158.0	6:27	▲31.1	0:27	▲0.5	0:00

提案時のやり取り

- (組合) 御茶ノ水駅改良工事の一部が終了したとはどのような状況か。
- (会社) 夜間車両滞泊が出来ない工事を行っていたが、滞泊出来るようになるため元に戻ることになる。
- (組合) 現在疎開している車両を元に戻すということか。
- (会社) 定期列車として習志野運輸区構内に疎開していた車両を元に戻す。
- (組合) 乗務員の乗泊は以前からあるものを使用するのか。
- (会社) 今回の改良工事に伴い乗務員の乗泊も間内改良した。場所は駅の建物の上で以前と同じ場所である。
- (組合) 始めて泊る乗務員もいると思うが。
- (会社) 同じ場所なので以前に泊まった事のある人は分かると思う。
- (組合) 御茶ノ水に泊まるのは車掌1行路、運転士2行路という事で良いか。
- (会社) そうである。津田沼泊まりだった行路が御茶ノ水泊まりに変わる。行路数は変わらない。
- (組合) 点呼等を行うスペースは儲けるのか。
- (会社) 休養室フロアーに点呼スペースを新たに設け遠隔で点呼を行う。過去、信号所で対面点呼を行っていたものが点呼スペースで行うことになる。
- (組合) 乗泊の管理箇所はどこか。
- (会社) 中野電車区と聞いている。
- (組合) 中野電車区の乗務員も止まるのか。
- (会社) 今回泊るのは津田沼統括センターの乗務員である。
- (組合) 浴室の使用時間帯が重ならないのか。
- (会社) 休養室がホテルタイプとなり休養室内にユニットバス、トイレが整備されている。
- (組合) そのような休養室は千葉支社内にあるのか。
- (会社) 千葉支社にはない。首都圏本部管内ではいくつかあると聞いている。
- (組合) これからはそのようなタイプになっていくのか。
- (会社) スペース等の条件で整備していくのかなと考える。室内で完結できる世の中の流れというものもある。
- (組合) どれくらいのスペースがあるのか
- (会社) 寝る設備と移動出来るスペースは確保している。
- (組合) 女性休養室もスペースは確保されているのか。
- (会社) 今回についてはホテルタイプで整備されていて、部屋の鍵も機械で管理されており、男性エリア・女性エリアとはせずビジネスホテルの様な形にする。
- (組合) 男性女性の仕切りはなく共用ということか。
- (会社) そうである。
- (組合) 実施日が10月1日火曜日となっているが、火曜日泊り行路(甲)から御茶ノ水泊りということか。
- (会社) 月曜日泊り行路(甲)の人は津田沼に泊り翌朝回送に乗っていく。10月1日夜からお茶ノ水泊りとなる。
- (組合) 運転士で入出区の持ち替えがあるとのことだが、行路が変わるのか。
- (会社) 行路の数は変わらないが一部中野電車区も含めて列車の持ち替えをしている。
- (組合) 区所計で労働時間(A)が27分増えているが。
- (会社) 御茶ノ水から次の列車担当箇所までの便乗が発生する。乗務キロは減っているが労働時間(A)が増えている。
- (組合) 御茶ノ水での準備時間が2分増えたが点呼時間ということか。
- (会社) 移動を含めて全体で2分である。2022年3月改正時に乗務員の業務の見直しを行った時に示したものが現行で、それと比較したものである。
- (組合) 御茶ノ水の欄が増えたというのとは何か。
- (会社) 御茶ノ水の欄を変更してお示ししている。点呼場所が変わったので改めてお示しした。変更というよりは追加である。
- (組合) 必要な準備等とはどのような事か。
- (会社) 寝る場所や行路内容等が変わるので、乗務員に対して訓練等必要な周知等を実施していく事を含めて必要な準備等としているところである。
- (組合) 定例訓練で資料による説明をするのか。
- (会社) 新人車掌等初めての人にはアナウンスを付け加える。運転士は御茶ノ水留置になるので手歯止めの設置位置など必要な教育を行う。
- (組合) 休養室の鍵はどのようなものか。
- (会社) 鍵管理機から専用カードを持参し使用する。

- (組合) 実際に御茶ノ水駅に行って訓練をするという事はないのか。
(会社) 現場の指導担当が教育内容を作り訓練等で周知させていただく。
(組合) 定例訓練の中で行うのか。
(会社) 何処の場で行うのかは現場で判断する。
(組合) 御茶ノ水泊まりが初めての人は不安と思うが。
(会社) 2020年3月改正以来なので4年半くらいになる。新人・移動者など経験のない方はいる。
(組合) 改良工事はまだ続くと思うが、乗務員関係の変更等は今回で終わりか。
(会社) 改良工事は続くが車両の留置に関わる工事は終わっている。

終了後の確認事項

- (組合) 御茶ノ水乗泊のリネンの交換頻度はどの様になるのか
(会社) 他の乗泊と同程度である。

以上の様なやり取りが行われた。

以 上